

People are capable of doing remarkable things, things that most people would say are impossible.

山河在り

東陽中学校だより
平成二十八年度第二号

平成28年7月21日
文責 米村

マシュー先生の夢実現 にエールを送りましょう

平成二十七年九月から、ALTEとして東陽中学校の英語教育に尽力いただいた、マシュー・ツダ先生が今学期を最後に母国アメリカへ帰国されることとなりました。東陽中学校での最終勤務日となった十九日午後、生徒司会による退任式を行いました。見出しの英文は、マシュー先生のスピーチの中で最もインパクトの強かったものです。マシュー先生の日本語訳によると「人には、みんなが不可能だと言ったことをやる能力がある。」となります。マシュー先生のお父様から送られた重要なアドバイスの言葉だそうです。

この言葉を聞いた時、イチロー選手が語っていた彼の原点をみつける話と一致しました。小学校時代、プロ野球選手になるため黙々と素振り続けるイチロー選手を笑った人がいました。プロ野球選手になったイチロー選手が大リーグ行きを決めた時、メジャーでは通用しないと笑う人がいました。イチロー選手は笑われた悔しさをバネに努力を重ね、今日なお大記録を更新中です。

The best advice I can give is to do what makes you proud of what you do.

私からのアドバイスは、「自分自身を誇りに思うことをやれ！」ということです。You are all young and have the potential to do anything in life so I urge you to do so.

みなさんはとても若く、何にでもトライできる力を持っています。

It is very rare that things will just come to you in life, so you must put in the hard work and time and your goals will come to you.

自分のやりたいことがひとりでにやってくることはない。それを達成するためには一生懸命に目標に向かって、努力を続けたいといけな。

You have the rest of your lives ahead of you try to achieve them.

みなさんは目標を達成するため、たくさんの時間があります。

(例え、うまくいかない時があっても、何度でもチャンスがあります。)



イチロー選手を笑う者がいなくなっても彼は努力を続けています。マシュー先生は東陽中の生徒の皆さんに、数々のすばらしいエールを残してくれました。一部を記しておきます。和訳はマシュー先生ご自身によるものです。マシュー先生は、環境問題を扱う大学院で勉強されるそうです。お会いしたいものです。

東陽中が租税教育実践を委嘱されました

東陽中学校のホームページでも一部を紹介してありますが、七月五日午後より八代税務署総務課の上村祐貴様をお招きして、租税教室を開催しました。平成二十八年度、東陽中学校が熊本県租税教育推進協議会より「租税教育実践校」に委嘱されたことによる事業の一環で、子どもたちにとっては最初の行事となります。

当日は、DVDで税の必要性等を学習した後、税金の大切さや使い方などクイズを交えながら、上村様からお話がありました。途中、一億円の重さを実感する場面がありました。数名の生徒が一億円の見本が収納され重さを本物と同じように設定されているジュラルミンケースを持ち上げます。片手では重くて持ちづらいことが体験できたようです。最後に、代表して生徒会長がお礼を述べ、第一回目となる租税教室が終了しました。

今回、東陽中学校の租税教育委嘱は八代・水俣・芦北地区を代表しており平成二十九年度まで継続する事業です。社会科を中心に、学校総体で租税教育に取り組むこととなります。税に関する問題は重大かつ喫緊の課題を多く含んでいます。大切な取組になると言えるものです。



裏面もご覧ください



<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

それぞれの成果をつかみ取った中体連八代大会

六月二十五・二十六日を中心平成二十八年度の八代中体連総体各種競技がそれぞれの会場にて実施されました。東陽中学校からは男子二チーム、女子一チームが参加し、それぞれの成果をしっかりとつかみ取ることができたようです。

女子バドミントン部は八代白百合学園体育館で団体戦・個人戦に参戦。個人戦、二回戦まで勝ち進んだ生徒も自信をつけたのではないのでしょうか。試合終了後に三年生が残したメッセージは感動的でした。また、大会を支える役員等の仕事を体験することで試合の勝敗からだけでは学べない貴重なものを得ることができたようです。

また熊本地震の影響で急遽二つの体育館を提供して頂いた八代白百合学園関係者の方に感謝いたします。



男子バレーボール部は第五中学校会場にて六月二十五日、一回戦を逆転で勝ち上がり二十六日、県中体連大会出場をかけてライバル校と対戦。惜しくも破れ、八代中体連大会三位の好成績を残しました。

全校生徒の規模、部活動設置の数から考えるにすばらしい成果であり、あと一歩が残念であったと思います。残された課題を後輩が受け継ぎ、これからの先輩方の思いも加え新たなスタートを切ってほしいものです。



男子ハンドボール部は二十五日、氷川中学校体育館で八代第一中学との対戦を迎えました。熊本地震の影響で当初予定の東陽スポーツセンターから、氷川中学校体育館に会場を移転しての開催で役員のご苦労には頭が下がりました。

東陽中学校三年男子八名に氷川中学校三年男子三名を加えた東陽・氷川中が、昨年度敗れていた八代第一中学校に勝ち、中体連県大会の出場権を獲得しました。見事に昨年の雪辱を果たした結果となりました。この試合では、東陽中学校女子ハンドボール部がオフイシャルを務めました。一年生も多く、佐藤先生の指導を受けながらではありませんでしたが、立派に大会運営を支えていました。左記の日程で開催される県中体連ハンドボール大会での活躍を期待しています。なお、昨年に引き続き東陽中学校二年生の小瀧颯真選手が県中体連水泳大会に出場します。荒尾市民プールでの力泳に声援を送ります。



**県中体連
ハンドボール大会**
日時：7月23・24日
会場：オムロン
鹿陽センター、他
対戦相手
1回戦：出水中学校
2回戦：苓北中学校

進む「小中一貫・連携教育」と地域交流の取組

六月二十九日、小中一貫・連携教育の取組で東陽中学校三年生が数学の授業を東陽小学校の先生方にも公開しました。指導者はT1松原先生で、教頭先生もT2で参加されました。平方根の計算について答えが導かれる過程を説明するという参観者にとっても、難しい課題に対して生徒は真剣に向き合っていました。授業後の研究会では、参観した小・中学校の各先生から活発な意見が交わされ、実り多い研究会となりました。「答えが一つしかない旧来の数学の授業」では味わえない、苦しくも楽しさを実感できるすばらしい授業を提供してくれた皆さんに感謝します。

また、本年度も総合的な学習の時間などを使い、伝統文化学習を小・中学校の子どもたちで取り組んでいます。地域の指導者も招き、太鼓や棒踊りの練習に汗を流しています。

一年生は福祉保健センター「みどり」を訪問し、入所者の方々と交流しました。三年生が太陽保育園に行き、園児との交流を深めるなど、地域との交流が深まった一学期でした。



書道生徒代表作品がリニューアル!!



東陽中学校玄関正面の職員室前廊下に掲示している、書道生徒作品を本年度代表者の書に展示替えしました。「勇」と「笑」、いずれも三年生の大作です。作者名や漢字選定の理由等は、実際の作品を見てもらいたいので、ここでの紹介は控えておきます。「東陽町文化の祭典」実行委員長を務めておられる、大江田先生のご協力によるものです。製作者の生徒と大江田先生に感謝申し上げます。

最後までご覧頂きありがとうございました。